

Top Interview

トップインタビュー

— 変革に挑む —

まとめ／金丸正文 撮影／二島淳次

育てたいのは、 一度きりの人生を 自分自身でデザインする力

私は折に触れて学生に「人生は一度きりだ」という話をします。入学式や卒業式でも必ず触れています。「自分が本当にやりたいことは何か?」「10年後の目指す姿は?」「そのために今、何をしたらいいのか?」。こうした話をするのは、学生一人ひとりが自ら生きがいやデザインし、主体的な成長を楽しめる人材に育ってほしいと思うからです。こうした主体性を引き出すことも、私たちの重要な使命のひとつであり、グループが運営する全12校で担任制を敷いているねらいもそこにあります。20〜40人の少人数クラスで毎朝、毎夕HRを実施し、学生個々に目を配ります。顔が見えない学生がいたらすぐに担任が連

絡、時には自宅まで行き一緒に登校する担任もいます。こうした親密な距離感が教育的効果を上げるためには、担任と学生の厚い信頼関係が絶対条件であり、そういった教員がいることが誇りです。さらに全教員に海外研修を体験する仕組みをスタート。また、正課の授業とは別に実施している人間力向上プログラム「GCB」の設計も各担任に一任しています。体験に基づいて世界を語り、自分が考えた言葉で人間力の核心を伝える教員たち。その情熱が学生の主体性を呼び覚まし、就職率99.5%（就職者数2154人・2014年卒業生）という実績にも直結しています。

本グループは今後、こうしたきめ細

【理事長プロフィール】あそう・たけし●1981年生まれ。ブリヂストンスポーツ㈱広報室勤務を経て、2010年、㈱麻生地所および麻生介護サービス㈱取締役就任。12年5月、学校法人麻生塾統轄本部長就任。14年4月、学校法人麻生塾理事長に就任。

【学校プロフィール】IT、観光、製菓、医療、福祉、建築、美容、自動車、機械など全12校を擁する九州最大の専門学校グループ。海外9カ国の教育機関とも連携。

かな教育を水平・垂直の両方向で展開し、「世界中の人々の生きがいをデザインする教育機関」を目指します。水平展開とは、私たちが培った教育ノウハウ、いわば麻生メソッドの海外展開です。現在も世界9カ国22教育機関と相互交流を行っています。一歩進んで、今年9月にはインドネシア有数の総合大学として知られるBUS大学に新学部を共同で設立します。現地に展開する日本企業からのオフアームもあり実現した新しい試みで、今後、国内のみならず日本と関係が深い各国の発展に貢献できるグローバル人材の育成を加速させます。いっぽう垂直展開とは、高校生以外の層にも目を向けた生涯教育の展開です。小・中学生の職業観涵養、大学生の就職支援、社会人のキャリアアップなど、グループのノウハウを活用できる楽しみなカードはいくらでもあります。1939年の開校以来、社会に送り出した人材は4万5000人以上。責任ある立場のベテランから新米社会人まで、毎日のように卒業生が母校を訪れています。一人の学生と熱く、深く関わる教育。今後、本グループの規模がどんなに広がっても、「麻生イズム」の本質は受け継がれます。

学校法人麻生塾
（麻生専門学校グループ）
理事長
麻生健

